

SDGsで育ててくれた 地域に恩返し

巴山グループ

巴山建設株式会社
巴山興業株式会社

代表取締役社長 巴山健一氏

SDGsは Sustainable Development Goals の頭文字をとった略語で、「持続可能な開発目標」を意味します。2015年の国連サミットで採択され、2030年までに世界で達成することを目指しています。「誰一人取り残さない」という理念の下、

環境や経済、社会などの分野における17の目標で構成されていて、いま企業が社会貢献をするための大きな指標です。

SDGsに取り組み、社会貢献活動と事業の成長を両立させている巴山グループ代表取締役社長巴山健一氏に話を聞きました。



工事から産廃処理、 リサイクルまでできる

「経営をする上でSDGsを意識したことはありませんが、会社の存続と社員を守るためにすべきことを考え抜いたら、リサイクル事業や地域への貢献に行き着きました。つまり、会社の生産性を上げる事業が、SDGs活動だったということですね」

主に公共工事を手がける巴山建材を、1950年に創業した巴山健一社長。1987年に巴山建設に名称を変更すると、建設時に発生する残土を使用できる土にリサイクルし、その土や骨材の販売、運搬を行う巴山興業を同時に設立。

「とにかく建設に関わる仕事は、自社で完結できる会社を目指しました。建物を壊せば瓦礫がれきやガラス、コンクリートが出ますし、地面を掘れば汚泥やヘドロが出てくるわけです。

巴山興業では、調布市に設けたりサイクルセンターでそれら廃棄物を受け入れ、スーパーリサイクルシス

テムを導入した八王子プラントで優れた製品にリサイクルして、再び大地に返す事業を展開しています。

巴山建設が工事、巴山興業が運送や廃材処理、リサイクル品の製造という役割をうまくこなすことでグループ全体の生産性が大きく向上しました」

廃棄物の管理や削減への取り組みは、SDGsの目標12「つくる責任つかう責任」に含まれており、三十年代前からSDGsを実践してきたこととなります。

さらに、巴山グループが開発した残土のリサイクル品「粒状改良土」は、行政が環境保護の観点から道路工事等での使用を推奨しています。

「巴山建設は架橋工事や道路工事、造成工事などでもできるし、巴山興業には120台のダンプカーと産業廃棄物処理プラントがあります。さらに、リサイクルまで行う。ですから、巴山グループに頼めば、機動力は高いし、工事から廃棄物の処理まで一貫してできると、仕事の依頼が増えました」

さらばSDGs 私募債で調布市に恩返し

公害対策にも力を入れている巴山グループ。きっかけは、2000年に東京都が施行したディーゼル車の排出ガスを厳しく規制する「環境確保条例」でした。

「当社は120台のダンプカーが動いていますから、当然排出ガスをたくさん出しています。

条例が出てから、すぐにできることをやろうと、公害対策に取り掛かりました。具体的には、エンジンはできるだけ吹かさず、こまめに切る。そうすれば、排出ガスの削減だけでなく、騒音が減り地域に迷惑をかけることなく、車輦も長持ちする。結果として、ドライバーの意識が高まっています。事故や違反の減少にもつながりました。我々は免許がなくなると仕事になりませんから、ドライバーの育成としてもよかったです」

2003年からは、地域の子供たちにクリスマスプレゼントを配る活動を開始。

「さまざまな環境の子供たちがいますから、みんなが楽しくクリスマスを迎えて、夢と希望を持ち、すくすくと成長することを願ってプレゼントを渡しています。

調布のリサイクルセンターは周りが塀で覆われているので、中で何をやっているのか地域の人たちにはわかりません。しかも朝から晩までダンプカーが出入りしているので、危ないという印象があるのです。

その場でプレゼントを渡しますから塀の中がわかりますし、さらに事業内容を紹介して地域のみなさまの理解を得る場にもなっています」

調布市で生まれ育ち、本社を同市に構えた巴山社長は、地域に貢献することが一つの夢だったといいます。リサイクル、公害対策、そして地域貢献。巴山建設は、2020年8月に「さらばSDGs 私募債」を活用し資金を調達しています。

さらばSDGs 私募債は、私募債発行企業が希望する団体等に寄付を行える商品で、巴山建設は「社会福祉法人調布市社会福祉事業団」を

寄付先に選びました。

「私は生きていく上で、大事にしてる言葉が二つあります。一つ目が『百折不撓』。絶対に諦めないということ。そして二つ目が、数十年前に先輩から聞いた『咲いた花見て喜ぶならば、咲かせた根元の恩を知れ』という言葉。

会社を花とするならば、育ててくれた人の恩は絶対に忘れてはいけません。そういう気持ちで懸命に働いていけば、当社も満開と言えるかは別として咲いていられるのだと思っています。

調布市に育ててもらったので、SDGs 私募債で少しでも市の活動に寄与できるのであれば嬉しいですね」

巴山建設株式会社

本社 東京都調布市多摩川2-25-1 設立
1950年4月 資本金3,000万円 売上
高28億円

事業内容 土木建設工事の設計、施工、監理
請負／舗装工事／水道施設工事／建物解体工事の請負

巴山興業株式会社

本社 東京都調布市多摩川2-25-1 設立
1987年11月 資本金2,000万円 売上
高23億9,000万円

事業内容 砂利、碎石、砂等の建築及び土木
資材の販売／産業廃棄物処理業／改良土の生産販売／残土の再生処理